

令和 7 年度京都大学大学院教育支援機構 SPRING プログラムの春選抜における「特別枠」の設定について

京都大学大学院教育支援機構
機構長 平島 崇男

この度、京都大学大学院教育支援機構 SPRING プログラム（以下、「本プログラム」という）の助成元である国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）から本学へ支援枠の追加配分が決定し、機構として検討した結果、この追加配分の一部を「特別枠」として、博士後期課程第 2 年次（相当）の募集に充てることといたしました。

本プログラムは、本来、博士後期課程第 1 年次（相当）から標準修業年限まで一貫して経済的支援・キャリア形成支援を行う事業であり、学生の育成という趣旨から、通常枠は博士後期課程第 1 年次（相当）のみを募集対象としております。

しかしながら、今回追加配分される支援枠が令和 7・8 年度（2 年間）のみという期限付きであること、また、令和 6 年度春選抜において当時の博士後期課程第 1 年次（相当）の採択数が例年と比べて若干減少したこと等の事情を踏まえ、令和 7 年度春選抜については、「特別枠」として、博士後期課程第 2 年次（相当）から標準修業年限までを支援する枠を特例的に設定することといたしました。

なお、令和 5 年 10 月以前の入学者（休学等の事情により令和 7 年 4 月時点で在学期間が 2 年未満の者を除く）については、令和 7 年 4 月から支援を開始すると支援・育成期間が 2 年未満となり、本プログラムにおける育成という趣旨に沿わないため、今回の特別枠の対象とはなりません。

また、今回の「特別枠」については、令和 7 年度春選抜限りの措置であり、令和 7 年度秋選抜及び令和 8 年度以降は現時点では実施する予定はありません。